

読 2013.9.27

# 大谷石 五輪で売り込め

## 宇都宮市長トップセールスへ

2020年東京五輪・パラリンピックの開催が決まったのを受け、宇都宮市の佐藤栄一市長は26日の定例

記者会見で、都内などに多数の施設が建設されることを踏まえて「大谷石を売り込むため、必要に応じてト

ップセールスもしたい」と述べた。

大谷石は、市西部の大谷地区などで採掘される特産の天然石材。採掘業者数は減少傾向にあり、現代の建物で土台や柱に使える強度はないものの、素朴で温かみのある美しさが建築家やデザイナー業界から見直され、最近は内装材として脚光を浴びつつある。

東京五輪では、都が臨海部を中心に10施設を約1500億円かけて新設する計画を打ち出すなど、これから数年は都内などに建設ラッシュが起きる見込みだ。佐藤市長は「特産品、建設資材を売り込む大きなチャンス」と位置づけ、大谷石に言及した。福田知事が表明したキャンプ地としての立候補や、観光客誘致にも「協力したい」とした。